

EndNote basic (旧EndNote Web) インポート編

1. 文献情報を手入力する(webページ、本の一章など)

「収集」タブ→「新しいレファレンス」をクリック。「レファレンスタイプ」から自分が入力したい情報に合ったタイプを選ぶ(下の例ではweb page)。必要なフィールドを入力したら「保存」ボタンをクリックして保存。

新しいレファレンス

書誌事項フィールド:

レファレンスタイプ:

Author: 「姓,名」の順番で入力してください。著者名はそれぞれ改行で区切ります。

Title:

2. データベース別文献情報のインポート方法

ブラウザやOS等、パソコンの環境によって手順や表示される内容が若干異なるので注意。

うまくインポートできない場合は個別に図書館にお問い合わせください。

● CiNii Articles/Books/Dissertations

【プラグインがインストールされている場合】

- ① 検索結果一覧画面で、インポートする論文にチェックをつける。
- ② 「新しいウィンドウで開く」のメニューから「EndNoteに書き出し」を選び、「実行」ボタンをクリック。
- ③ 小さいウィンドウで「X references exported to ~」のメッセージが出るので、OKボタンをクリック。もしくはEndNotebasic(以下ENb)へのログインを求められるので、その場合はログインする。
- ④ ENbの画面でマイレファレンスタブを再読込すると「未整理」フォルダにレコードが入っている。

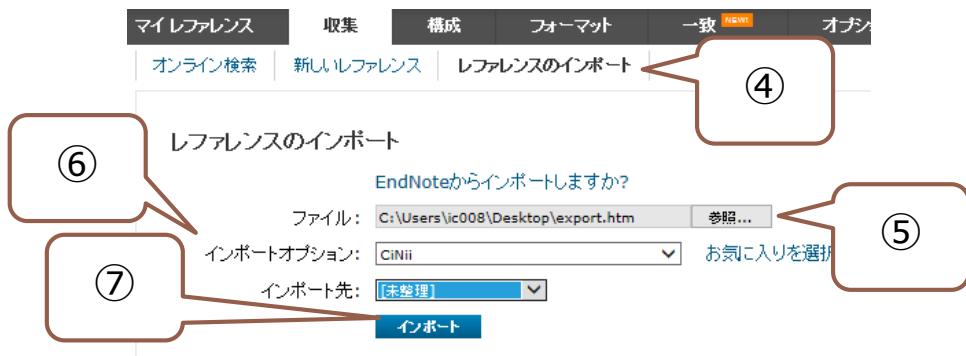


【プラグインがインストールされていない場合】

- ① 検索結果一覧画面で、インポートする論文にチェックをつける。
- ② 「新しいウィンドウで開く」のメニューから「Refer/BibIXで表示」を選び、「実行」ボタンをクリック。
- ③ 別画面で表示されるので、メニューバーの「ファイル」⇒「名前を付けて保存」をクリックして、テキストファイル形式(.txt)でファイルを保存。
- ④ ENbにログインし、「収集」タブ→「レファレンスのインポート」画面を開く。
- ⑤ ファイルの「参照」ボタンをクリックし、手順3で保存したファイルを選択。

⑥インポートオプションは「CiNii」を選択。

⑦インポート先を指定して、「インポート」ボタンをクリックすると、ENbへのインポートが完了。



● EBSCOhost

(PsycINFO, CINAHL, MEDLINE, Cochrane等EBSCOhost経由で閲覧できるデータベース。

一覧は図書館のHPから電子資料を探す>EBSCOhostをクリック)

①EBSCOhostの検索結果画面で、インポートする論文の横のフォルダ型のアイコンをクリック。

②画面上の方の「フォルダ」をクリック。①で選んだ論文のレコードが保存されている。

③「エクスポート」のアイコンをクリック。「EndNote Web への直接エクスポート」を選び、「保存」ボタンをクリック。

④ENbの画面でマイレファレンスタブを再読込すると「未整理」フォルダにレコードが入っている。



引用を保存するファイルの形式:

- RIS形式の直接エクスポート (CITAVI, E Manager, Zotero など)
- EndNote Web への直接エクスポート
- 汎用文献リスト管理ソフトウェア
- XML形式
- BibTeX書
- MARC21
- RefWorks への直接エクスポート
- EasyRih への直接エクスポート

● Google Scholar

① Google Scholarトップページで、上にある「設定」をクリック。

②「文献情報マネージャ」の項目で「“RefMan”への文献取り込みリンクを表示する」を選択。

③「保存」ボタンをクリックして、Google Scholarトップページへ戻る。

④Google Scholarの検索結果画面で、インポートする論文について「RefManに取り込む」をクリック。

⑤ファイルを「開く」か「保存」かを聞かれたら、「保存」をクリックし、「.ris」形式でファイルを保存。

⑥ENbにログインし、「収集」タブ→「レファレンスのインポート」画面を開く。

⑦ファイルの「参照」ボタンをクリック。⑤で保存したファイルを選択。

インポートオプションは「RefMan RIS」。

⑧インポート先を指定して、「インポート」ボタンをクリックすると、インポートが完了。

● MathSciNet

- ① MathSciNetの検索結果画面で、インポートする論文にチェックをつける。
- ② Batch Download:「Citations (EndNote)」を選択。
- ③ 「Retrieve Marked」をクリック。
- ④ Webブラウザのメニューバー「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックし、「.txt」形式で保存。
- ⑤ ENbにログインし、「収集」タブ→「レファレンスのインポート」画面を開く。
- ⑥ ファイルの「参照」ボタンをクリックし、手順4で保存したファイルを選択。
- ⑦ インポートオプションは「EndNote Import」を選択。
- ⑧ インポート先を指定して、「インポート」ボタンをクリックすると、ENbへのインポートが完了する。

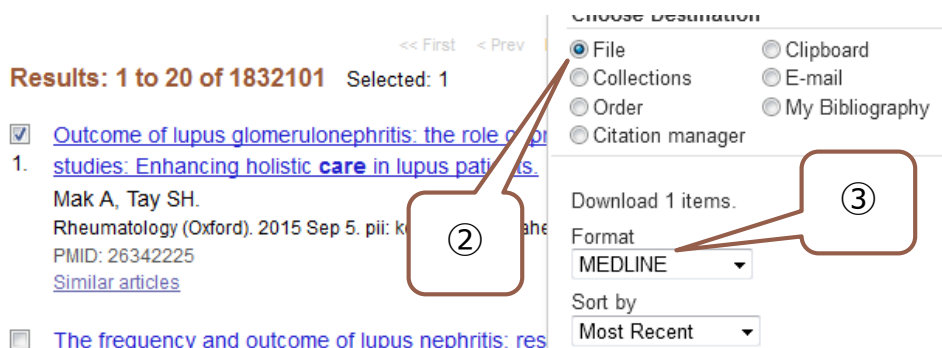
● PubMed@千葉大

【プラグインがインストールされている場合】

- ① PubMedの検索結果画面で、インポートする論文の左端にチェックをつける。
- ② 「Send to」の選択肢から「Citation manager」を選択。
- ③ 「Create File」ボタンをクリック。
- ④ ファイルを「開く」か「保存」かを聞かれたら、「保存」をクリック。
- ⑤ ENbのログイン画面が出て、ログインするとENbへのインポートが完了する。
データは[未整理]フォルダに入る。

【プラグインがインストールされていない場合】

- ① PubMedの検索結果画面で、インポートする論文の左端にチェックをつける。
- ② 「Send to」の選択肢から「File」を選択。③ FormatでMEDLINEを選択。
- ④ 「Create File」ボタンをクリック。⑤ ファイルを「開く」か「保存」かを聞かれたら、「保存」をクリック。
- ⑥ ENbにログインし、「収集」タブ→「レファレンスのインポート」画面を開く。
- ⑦ ファイルの「参照」ボタンをクリックし、⑤で保存したファイルを選択。
インポートオプションは「PubMed(NML)」を選択。
- ⑧ インポート先を指定して、「インポート」ボタンをクリックすると、インポートが完了。

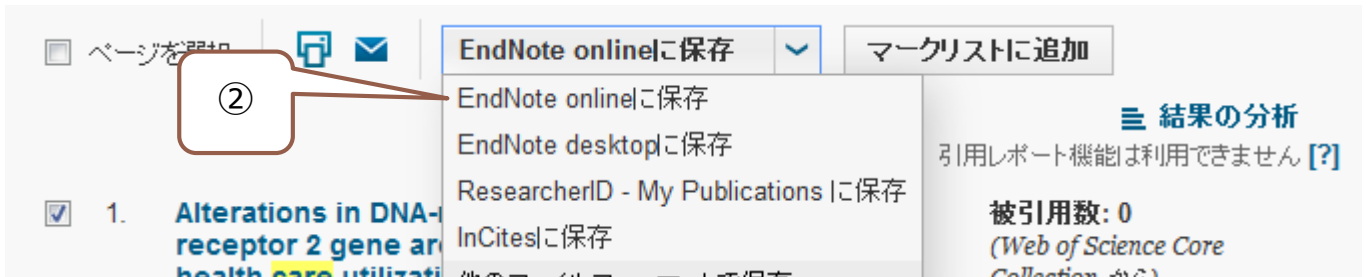


●SciFinder

- ①SciFinderの検索結果画面で、インポートする論文の左端にチェックをつけ、「Export」をクリック。
- ②Citation Managerの選択肢で「Tagged Format (*.txt)」を選択し、「Export」ボタンをクリック。
- ③ファイルを「開く」か「保存」か聞かれたら、「保存」をクリックし、「.txt」形式でファイルを保存。
- ④ENbにログインし、「収集」タブ→「レファレンスのインポート」画面を開く。
- ⑤ファイルの「参照」ボタンをクリックし、③で保存したファイルを選択。
- ⑥インポートオプションは「SciFinder(CAS)」を選択。
- ⑦インポート先を指定して、「インポート」ボタンをクリックすると、インポートが完了する。

●Web of Science

- ①Web of Scienceの検索結果画面で、インポートする論文の左端にチェックをつける。
- ②送信先の選択肢から「EndNote onlineに保存」をクリック。
- ③「レコードコンテンツ」を選択し、「保存」ボタンをクリック。
- ④Web of Scienceの検索結果画面で、EndNote basicに送信した論文には「EN」マークが付く。
このマークをクリックするか、画面上部の「EndNote」をクリックすると、ENbが開く。
(データは[未整理]フォルダに入っている。)



●医中誌Web

- ①医中誌Webの検索結果画面で、インポートする論文の左端にチェックをつける。
- ②「ダイレクトエクスポート」をクリック
- ③「EndNote Web」をクリックし、ENbにログインする。
- ④医中誌Webから取り込んだレコードは「マイレファレンス」の[未整理]フォルダに入っている。

●千葉大学蔵書検索OPAC

【プラグインのインストールが必要】

- ①OPACの検索結果画面で、インポートするデータの左端にチェックをつける。(複数選択可能。)
- ②「EndNote Web出力」のボタン(OPAC検索画面の上下にあります)をクリック。
- ③別ウィンドウ「EndNote Web出力」の画面で、「EXPORT」アイコンをクリック。
- ④ENbにログイン。
- ⑤ENbの「未整理」フォルダにデータが入る(「マイレファレンス」タブを再読込)。

参考資料.

・東京大学「各データベースからEndNotebasicへのインポート方法」

http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/enw_import.html (2016-3-7アクセス)

・ユサコ株式会社 講習会用スライド